



若者をしのぐファイトで ゴール目指して力走

町民の親睦と体力づくりを目指して開催された町民体育祭は、20回目を迎えて、8月29日鷹巣競技場で盛大に行われました。当日は全町から2,500人余りが参加。日中最高気温が31.7度と真夏日に恵まれ、選手は日頃の健脚を競い合いました。60代の60m走では、若者をしのぐファイトでスタート。ゴール目指し力走。ますます健在ぶり発揮して観衆から盛んな拍手が送られていました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

8月31日現在	(前月比)
総人口 25,331	(5人減)
男 12,334	(9人減)
女 12,987	(4人増)
世帯数 7,234	(9世帯減)

長寿をお祝いします

ことしの敬老者は1,955人

最年長者は95歳の照内忠吉さん



九月十五日は、長年にわたり地域社会に貢献してくださったお年寄りを敬い、長寿を祝福する「敬老の日」です。

町では、この日を中心に七十歳以上の方を招いて、各地区ごとに敬老式を開き長寿をお祝いします。

ことしの七十歳以上の方は、計八百七十二人、女千四百四十四人、計千九百五十五人で、町の総人口の七・七％を占めています。

昨年より、男が四十九人、女が六十二人、計で百一十人も多くなり年々ふえています。

年齢別では、七十歳から七十九歳までが千四百九十八人（昨年より六十五人増）、八十歳から八十九歳までが四百三十二人（同四十三人増）、九十歳以上が二十五人（同三人増）となっています。

また、地区別の七十歳以上の方は、▽鷹巣 五百九十五人（男二百四十三人、女三百五十二人）▽七日市 二百十三人（男八十五人、女二十八人）▽沢口 二百三十三人（男百二十二人、女百一十一人）▽栄 百四十六人（男六十人、女八十六人）▽綴子 三百八十九人（男百七十一人、女二百一十八人）▽坊沢 百七十七人（男六十八人、女百九人）▽七座 百一十一人（男四十四人、女

健康こそ生きがいの源

〔病気になるがちな高齢期〕

高齢期は、若い時に比べて病気にかなりやすい、という意識が強くはたらくします。事実、厚生省の調査によりますと、お年寄りが病気になる率（有病率）は、若者の八〜十倍にもなっています。

高齢期の有病率が高いのは、生理的な老化に加えて高血圧や糖尿病といった成人病が深く関連しているからで、一般的には四十歳以上の人がかかる病気には老化が併存しているのが実情です。

このように、高齢期は病気にかなりやすい時期ですが、一方では人生のなかで最も余暇時間に恵まれた時期でもあります。こうした「貴重な時間」を病気の治療に費やしてしまつては、老後生活は文字どおり灰色になってしまいます。

その意味で、健康こそ豊かで活力ある老後を支える源と言えるでしょう。

自分の体は自分で守る——丈夫

六十七人）▽青山荘 九十五人（男三十人、女六十五人）で、最年長者は向黒沢の照内忠吉さん（95歳）、次いで摩当の岩谷ツヨさん（95歳）となっています。

敬老式では、七十五歳以上の方には茶筒、また喜寿の方に五千円、米寿の方には一万円と鳩杖、吸筒が贈られ、それぞれ長寿を祝います。

な体を保つには、まず自分自身がふだんから健康に留意することが必要です。その際、大切なことはバランスのとれた食事をとるとともに、適度な運動を心掛けることです。

〔積極的な健康管理を〕

同時に、成人病に対する程度の知識を身につけるとともに、お年寄り自身はもちろん家族の方も十分気を配るようにしたいものです。

また、老人のための健康診断など、公的機関による各種の検診は健康管理のために積極的に利用するようにしましょう。

〔張りのある充実した生活を〕

さらに、健康を保つうえで大事なことは、日々、充実した生活を送ることです。お年寄り仲間とゲーム活動を始めると積極的にグループ活動に参加したら、お医者さんに通う回数が減ったという例があります。充実した老後生活

町長日誌

8月16日〜8月31日

16日	竜森地区部落対抗球技大会
17日	鷹巣農免農道整備計画説明会
18日	町長と語る会 七座地区
19日	国営農用地開発屏風山地区視察研修 青森県
20日	振動障害対策巡回指導事業実施検討会員の委嘱及び会議
21日	秋田県青年体育文化祭
22日	緑ヶ丘小学校創立百周年記念
24日	合川高校議員研修 青森県
25日	八郎湯地域施設計画区第四次地域施設計画に関する地元説明会 上小阿仁村
29日	町民体育祭
30日	新農構実施市町村長合同会議
31日	東北商友会総会

を送ることにによって病気が遠ざかる——これも健康づくりの一つの方法です。

高齢期は、ともすれば孤独に陥ったり、生活面で消極的になりがちです。生きがいのある健やかな老後を送るには、日ごろから健康に十分注意するとともに、目標のある充実した生活を心掛けることが大切です。

① 照内 忠吉さん



照内さんは、町の最高齢者ですが、まだまだ元気で、午前中は毎日、欠かさず散歩して体力づくりをしているそうです。午後9時に寝て6時には起きる。暴飲暴食はしないと、長寿の秘けつを教えてくださいました。

① 岩谷 ツヨさん



「ことしの冬、裏にてたら永で滑って転んでしまった。腰を打って少し寝ダバッテ、いまはこのとおりで元気デ」と回復の早さを自慢していました。「飯は茶碗で山盛り一杯食ベルス。目と耳はこのとおりで達者デス」と笑顔で答える頼もしいオバアチャン。



② 佐藤 武右工門さん



③ 米沢 信喜さん



② 左近士 キヨさん



③ 河田 キヨさん



④ 畠山 長一郎さん



⑤ 松尾 利一郎さん



④ 和田 タツさん



⑤ 近藤 トヨさん

昭和57年男女別長寿ベスト20

(9月3日現在)

氏名	生年月日	年齢	住所	順位	氏名	生年月日	年齢	住所
照内 忠吉	明治20. 1. 10	95	向黒沢	1	岩谷 ツヨ	明治20. 4. 20	95	摩当
佐藤 武右工門	21. 10. 26	93	坊沢大町	2	左近士 キヨ	21. 1. 3	94	花園町
米沢 信喜	23. 10. 15	91	糠沢	3	河田 キヨ	21. 9. 17	93	元町
畠山 長一郎	24. 4. 29	91	与助岱	4	和田 タツ	21. 10. 25	93	青山荘
松尾 利一郎	24. 11. 5	90	太田	5	近藤 トヨ	21. 12. 1	93	中屋敷
花田 松三郎	25. 8. 20	90	脇神	6	沢田 ミサ	22. 9. 25	92	前山
谷地田 一祐	25. 11. 12	89	吉野	7	長谷川 アサ	22. 12. 12	92	青山荘
桜庭 嘉吉	26. 2. 1	89	蟹沢	8	堀部 セツ	23. 1. 7	92	葛黒
折原 喜一郎	26. 2. 20	89	元町	9	藤岡 サト	23. 9. 4	92	田子ヶ沢
神成 利三郎	26. 9. 7	89	北中家下	10	相馬 ノエ	23. 10. 23	91	上舟木
渡辺 勝蔵	26. 11. 22	88	昭和	11	乳井 キノ	24. 4. 10	91	青山荘
簾内 甚太郎	26. 12. 1	88	今泉	12	花田 ソ子	24. 6. 1	91	旭町
桜庭 嘉市	26. 12. 15	88	舟見町	13	小林 チナ	24. 6. 13	91	青山荘
長岐 久蔵	27. 2. 1	88	本郷	14	中島 リエ	25. 3. 3	90	小ヶ田
河田 長吉	27. 3. 5	88	元町	15	石田 マツノ	25. 5. 17	90	新舟見町
津谷 米三郎	27. 4. 2	88	緑ヶ丘	16	高橋 チヨ	25. 6. 26	90	綴子上町
村上 与茂治	27. 10. 7	87	掛泥	17	鈴木 サタ	25. 7. 9	90	上舟木
戸嶋 仁吉	28. 1. 10	87	新屋敷	18	成田 ハツ	25. 7. 23	90	宮前町
会田 欽太郎	28. 1. 20	87	前山	19	長崎 ハル	25. 7. 25	90	前山
中嶋 儀一郎	28. 2. 5	87	川口	20	高橋 ミエ	25. 10. 2	89	高野尻団地

全県青年体育文化祭

地元開催で完全優勝 好評だった大会運営

県下の勤労青年が、体育文化を通じて連帯を強め、豊かな郷土を建設しよう—ということから開催された「秋田県青年体育文化祭」は、八月二十日から三日間、鷹巣町を中心会場に開かれ、鷹巣町連合青年会（出川喜英会長）は、総会で念願の優勝をはたしました。こととして三十六回目を迎えた同祭に、県下四十八市町村から約二千人の若人が参加。体育の部は、陸上、バレー、バスケット、相撲、柔道、バドミントン、ソフト、卓



球、剣道の九競技十一種目。文化の部は、意見発表、合唱、演劇、郷土芸能、美術展、生活文化展、将棋、囲碁の八種目で、日頃の成果を競い合いました。

二十一日午前十一時から、佐々木知事、出川町長など来賓多数が出席して開会式が行われ、出川喜英町連合青年会長は「青年の結束を組織の発展と、住みよい郷土づくりに役立てよう」と歓迎のあいさつをされました。

同日午後からは各競技が一齐に開始され、地元鷹巣町連合青年会は組織を挙げて、運営に協力体制を整え、参加した全県の仲間から好評を得ていました。

また、全種目に二百十四人の大選手団を送りだし、競技、演技に大活躍しました。

体育の部では、陸上競技では、各種目の上位を独占して総合優勝したほか、柔道、剣道では団体、個人で優勝。ソフトボール、男子バレーボールが準優勝で総合優勝。文化の部では、絵画で堀部芳男さん（七日市）の「矢筈山」が、手芸品で笹代美保子さん（七日市）の「指人形」、室内装飾品で熊谷

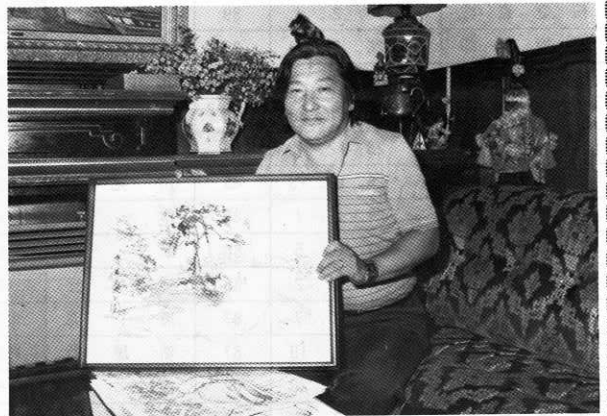
節子さん（七座）の「レターラック」がそれぞれ最優秀賞。合唱で優秀賞を獲得するなど、すばらしい成績で優勝しました。したがって、体育文化の総合でも見事優勝を飾り、三本の優勝旗を、若人の結果で手中に収めるという文字どおりの完全優勝をはたしました。

〔体育の部〕

◇陸上競技

- 〔男子〕 ▽百㊦ ⑥三沢文明（綴子） ▽二百㊦ ①村上幸儀（綴子） 24秒3 ②高橋智（綴子） ③四角百㊦ ④工藤敏明（鷹巣） 53秒7 ▽八百㊦ ①三沢勝則（綴子） 2分16秒7 ②中島司（沢口） ▽千五百㊦ ①宮腰正樹（七日市） 4分18秒4 ⑤高橋富美雄（綴子） ▽五千㊦ ①中島忍（沢口） 16分4秒1 ⑤高橋秀徳（綴子） ▽一万㊦ ②熊谷芳弘（七座）
- ③関昌末（沢口） ▽八百㊦リレー ①一位（高橋智、村上幸儀、三沢文明、工藤敏明） 1分40秒1
- ▽スエーデンリレー ①一位（高橋智、村上幸蔵、宮腰正樹、工藤敏

県と甘肅省の文化交流で 九島氏の絵が中国へ



広報たかのすに協力いただいている一線美術会運営委員・九島寮二さん（伊勢町）の「秋田三十景」が、秋田県が先に友好提携調印した中国甘肅省に寄贈されました。

九島さんは、五十二年に県内の観光地を描いて一躍有名となり、毎年個展やチャリティ展を開催するなど中央画壇からも注目を集めています。

ことしも町内のホテルで八月六日から三日間、個展「花シリ」を開催。県と友好提携調印のため来県していた中国甘肅省の李省長が、菅農大で学んでいる中国農業研究生を激励

する途中、個展会場に立ち寄ったものです。

李省長は、ポロ布で描いた四百号の「源遠長流」の大作に深く興味をもったことから、相互の文化交流を図るため、秋田県を代表する「観光三十景」を新技法のポロ布で描いて同省に贈ることになったものです。

同作品は、八月二十九日に出発した秋田県中国視察団（団長 伊藤農政部長）が携帯して、李省長に手わたされましたが、九島さんは、近く中国甘肅省を訪れ、自然豊かな山河を描いて親善と文化交流を深めたいとしています。



明) 2分9秒2 ▽走幅跳③村上敏広(綴子) ▽走高跳②藤島茂樹(綴子) ▽三種競技②高橋喜久雄(綴子) ⑤浪岡正幸(綴子)

▽男子総合優勝

〔女子〕 ▽二百メートル②田中香代子(鷹巣) ▽八百メートル③佐藤礼子(綴子) ▽四百メートル③三位 畠山政子、照内扶美子、三沢幹子、田中香代子 ▽走幅跳③畠山政子(鷹巣) ④小熊あけみ(鷹巣)

▽走高跳②高橋由加里(綴子) ▽砲丸投③沢田真由美(綴子) ▽三種競技②熊谷京子(七座)

▽女子総合優勝

▽男女総合優勝

▽柔道

▽団体優勝①高橋政政(綴子) 横山和樹、和田誠、染谷徹、桜庭唯徳(鷹巣) ▽個人戦①重量級①染谷徹 軽量級③高橋政政

▽剣道

▽団体優勝①佐藤秋弘、佐々木寛(鷹巣) 中島誠、近藤輝男(沢口) 松岡政行(栄) ▽個人戦①近藤輝男 ②中島誠

▽男子バレーボール準優勝 選手①堀部聡、佐藤信也、柴田英幸(鷹巣) 野呂豊彦、津谷仁、坊沢 籬内孝美、藤田寿人(七座) 布田久、橋本鉄也、畠山秀男(七座)

▽ソフトボール準優勝 選手①藤原多美子、橋本とも子、佐藤純子、藤藤由紀子(七座) 成田昭子、田村久美子、日下部まり子、小坂よし子、斉藤昭子(栄) 三沢祐子、佐藤恵美子(綴子) 長崎久美子、長崎むつ子(坊沢) ②バドミントン③三位 選手①山内幸雄(綴子) 成田肇 成田良子(坊沢) 亀山美紀子(栄) 成田美雪(鷹巣)

▽女子バスケ①三位 津谷かよ(坊沢) 山内久美子(綴子) 松尾成子(栄) 畠山浩美、松橋成美、成田真弓(鷹巣) 岩本久美子(七座)

▽相撲

▽団体四位①大川正直、堀部政俊(七座) 出川信久 小松巖、佐藤整(綴子) ▽個人戦①重量級①出川信久

〔文化の部〕

◇美術展

▽最優秀賞①絵画・堀部芳男(七座) ▽努力賞①書道・村上幸儀(綴子) 写真・亀山真志(栄)

◇生活文化展

▽最優秀賞①手芸品・笹代美穂子(七座) 室内装飾品・熊谷節子(七座) ▽優秀賞①民芸品・畠山美穂子(七座) 日常生活用品・米沢栄子(綴子) ▽努力賞 手芸品・佐藤由紀子(七座)

◇日常生活用品・山内真紀子(綴子)

◇合唱

▽優秀賞①畠山政子、成田法子、小坂正浩、九島良一(鷹巣) 佐藤由紀子、藤原多美子、宮腰正樹(七座) 中島司(沢口)、田村久美子、斉藤昭子、成田昭子、藤島和政(栄)、沢田真由美、山内真紀子、石川拓己、武内光幸、高橋喜久雄、村上幸儀(綴子)

◇演劇

▽努力賞①キャスト：堀内浩行、堀内藤博、藤島一、塚田晴美(綴子) 中島早百合、鈴木香代子(鷹巣) 野呂浜子(七座) スタッフ：鈴木祐樹、三沢克芳、大川英美、藤島喜代志(綴子) 熊谷京子、戸沢正子(七座)

◇郷土芸能

▽努力賞①籬内文雄、松井忠満、中島英樹、佐々木安夫、成田和明、仲谷篤志、武田勇悦、籬内照光、武田耕治、成田敏博、成田信彦、仲谷碓、武田幹夫、成田博文、武田馨一(七座)

◇将棋②亀山明(栄)

◇囲碁④大川正直(七座)



町職員資格試験

町職員採用資格試験を行います。受験希望者は、秋田県田村職員(上級、初級)採用統一試験要領により、受験申し込みください。

〔上級職員〕

- 1、採用予定人員 一般行政事務職員 若干名
- 2、受験資格 昭和28年4月2日から昭和36年4月1日までに生まれた者
- 3、試験日(一次) 二次試験は一次試験合格者について通知します。
- 4、試験場 秋田県自治会館(泉庁うら)
- 5、申込受付 9月1日(水)から9月17日(金)まで「勤務時間内」に役場総務課庶務係(二階)に申し込みください。

※住所要件(上級・初級とも)

- (1) 鷹巣町に住所(住民登録)を有している者。
- (2) 町外に就職または就学のため、鷹巣町から転出した者で、世帯主(両親等)が鷹巣町に住所(住民登録)を有している者

※受験申込用紙及び詳しくは役場総務課庶務係にお問い合わせください。(☎2-1111)

〔初級職員〕

- 1、採用予定人員 一般行政事務職員 若干名
- 2、受験資格 昭和32年4月2日から昭和40年4月1日までに生まれた者。ただし学校教育法による大学卒または卒業見込みの者は除く。
- 3、試験日(一次)11月7日(日) 二次試験は一次試験合格者について通知します。
- 4、試験場 秋田経済大学(秋田市茨島)
- 5、申込受付 9月25日(土)から10月12日(火)までの「勤務時間内」に役場総務課庶務係(二階)に申し込みください。

町民体育祭 総合で初優勝

▶スポーツ功労賞を受賞の

奈良、三沢両氏



▲とびしやがりレーで健闘……「飛んでる、女性軍」



▲あせてはいけません

力のこもるこの一戦…まけられません ▶

体力づくりと地域の融和を深める町民体育祭は、こととして二十回目を迎え、八月二十九日午前九時から鷹巣競技場で行われました。

当日は、朝から好天に恵まれ日中の最高気温が三十一・七度を越す真夏日となり、炎天下で手に汗にぎる熱戦が展開されましたが、各部門にムラなく得点を重ねた鷹巣地区が総合で見事初優勝を飾りました。

などユニークな遊競技に声援と笑いが飛び交いました。

参加した二千五百人余りの選手、応援団は一体となって熱戦、熱演を展開。競技場は終日、健康あふれる体力づくりで賑わいました。

- 〔生徒の部〕 ①鷹巣八十点 ②綴子五十二点 ③坊沢四十八点 ④沢口 ⑤栄 ⑥七日市 ⑦七座
- 〔青年の部〕 ①綴子九十八点 ②栄七十八点 ③鷹巣七十六点 ④沢口 ⑤七日市 ⑥坊沢 ⑦七座
- 〔婦人の部〕 ①沢口百四点 ②鷹巣百点 ③七日市八十点 ④綴子 ⑤栄 ⑥坊沢 ⑦七座
- 〔壮年の部〕 ①鷹巣二百六十八点 ②沢口百九十五点 ③坊沢百八十三点 ④綴子 ⑤栄 ⑥七座 ⑦七日市
- 〔総合の部〕 ①鷹巣四百六十二点 ②綴子四百一十一点 ③沢口三百九十五点 ④坊沢 ⑤栄 ⑥七日市 ⑦七座
- ▽通年りレー ①鷹巣 ②沢口 ③坊沢 ④栄 ⑤綴子 ⑥七日市 ⑦七座
- ▽綱引き ①沢口 ②坊沢 ③鷹巣、七日市



真夏日に恵まれた 鷹巣地区が



▲全天候トラックで堂々の入場行進



▲手を取りあってフォークダンス「ビューティフルサンデー」



▶青年千五百mで力走する。スプリンター

奈良・三沢両氏に功労賞

国体リレー優勝の戸島さんらに栄光賞

町では、町民体育祭の二十回目を記念して、これまで町の体育スポーツに功績のあった方々を賛え、開会式で表彰しました。

◇スポーツ功労賞

▽奈良康一 体育協会副会長としてスポーツの底辺拡大と選手の育成強化に尽力されました。

▽三沢孝一 町体育指導委員長として、社会体育の普及と地域の組織づくりに尽力されました。

◇感謝状

高橋七郎、佐藤光雄（陸上）

津谷栄七、佐藤栄一（スキー）

福岡清、細田修一郎（バレー）

中島秀雄（野球） 松森正（バスケット） 千葉勝也（バドミントン）

沢田修一（庭球）

亀山米蔵（剣道） 中島一義（卓球） 小林正蔵（相撲） 佐藤周治（フットボール）

小原久雄（柔道） 松尾精一（栄） 小原清（沢口）

宮腰茂（七日市） 藤内勲（七座） 津谷幸雄（坊沢）

中島喜代（町連婦人会） 吉岡興（社会体育）

鷹巣婦人会

沢口婦人会、坊沢婦人会、綴子婦人会、七日市婦人会、栄婦人会、七座婦人会、葛黒婦人会、竜森婦人会、緑ヶ丘婦人会

◇栄光賞

五十六年度において、各種スポーツ大会で活躍した選手、団体は次のとおりです。

▽藤島茂樹 郡市対抗三段跳優勝
▽宮腰正樹 県民スポーツ大会五千リ優勝
▽津谷徳男 県民スポーツ大会B砲丸投優勝

▽畠田富士子 県民スポーツ大会B六十リ優勝
▽遠藤昭夫 県体、県選手権バドミントン優勝

▽佐々木富美子 県体軟式庭球優勝
▽戸島淳子 冬季国体女子リレー優勝

▽神成司 全県青年体育文化祭二百リ優勝
▽工藤敏明 全県青年体育文化祭四百リ優勝

▽高橋喜久雄 全県青年体育文化祭千五百リ優勝
▽熊谷芳広 全県青年体育文化祭一万リ優勝

▽鷹巣陸協男子 郡市対抗、県民スポーツ大会四百リリレー優勝
▽町連合青年会バドミントン全県青年体育文化祭バドミントン優勝

▽町連合青年会男子リレー 全県青年体育文化祭八百リリレー、スエーデンリレー優勝

▽柔道連盟 県民スポーツ大会優勝

▽バレー協会女子 全国家庭婦人バレーボール大会優勝



緑ヶ丘小学校で

幻の百周年を祝う

懐かしの顔がいっぱい

昭和四十六年三月に廃校となった、緑ヶ丘小学校の歴史を後世に伝えようということから、創立百年目にあたる八月二十二日に、旧学校跡地に記念碑を建立して、幻の百周年を祝いました。

同校は、明治十六年八月に緑ヶ丘と蟹沢に民家を借りて、巡回授業所が設置されました。

当時は、女の子には学問は不要とされていた時代であり、また年齢に達しても学校に入らない子が多かったそうで、記録によると生徒数十八人で発足されました。

明治二十六年六月には、両部落の中間地点に坊沢小学校観音堂併分教場が建てられ、同四十三年には貯水池付近に移転建築。

昭和十六年には、落雷で校舎が全焼。三十一年には緑ヶ丘小学校として発足し児童百十一人となり坊沢中学校緑ヶ丘分校生徒五十人も、いっしょに勉強しました。

四十年代に入って、児童の減少と教育効果を高めるため学区統合構想が打ちだされ、緑ヶ丘を含む西地区は五十年以降に計画されました。

ところが四十四年に当時の七座小学校が火災焼失したことから、計画が早まり、四十六年三月に思い深い緑ヶ丘小学校が廃校。現在の西小学校に統合されました。

いまでは同地区の児童は、毎日スクールバスで通学するという便利な時代となりましたが、陸の孤島だった小学校時代の懐かしい思い出を語り、いまはなき校舎をしのぶため、「幻の百周年」を計画したものです。

記念碑を建立 記念誌も発行

同地区では、百周年実行委員会（代表、桜庭角蔵氏、成田与五郎氏）を結成し、記念碑の建立と、記念誌の発行を進めていました。

準備のととのつた八月二十二日地区住民や、ひさしぶりに古里に帰ってきた同窓生、懐かしい顔の恩師など四百人余りが、校舎跡に集合して記念式典を行いました。

はじめに、同地に建立された「緑ヶ丘小跡地の碑」と刻んだ記念碑の除幕が地元の一、二年生の児童の手で行われたあと、同窓生物故者に黙とうを捧げてめでい福を祈りました。

このあと、実行委員会を代表して桜庭角蔵さんが「人々の心をつなぎ、地域を発展させるため、これからの若い人たちに、緑ヶ丘小の気風を伝え残したい」と述べられ、つづいて町長、議長、教育長から祝福のあいさつがありました。

式典終了後は、校舎跡地でバレーボールを行う予定でしたが、折から降りしきる雨で、コートが軟弱となったので、緑ヶ丘担い手センター前広場に会場を移して、試合が行われ、地域住民、同窓生が入りみだれて、コートをかけ回り珍プレーの続出で爆笑。心地よい汗をかいていました。

そのあと同センターで祝賀会が開かれ、県内外からかけつけた同窓生や、数十年ぶりに再会する同級生、恩師と酒をくみ交しながら在校時代の思い出話に花が咲いていました。

おしらせ

出かせぎ者の 合同選考会

今年も秋冬期出かせぎの時期になりましたが、出かせぎを希望される方は、職業安定所を通じて安全な職場に就労できるように合同選考会を実施します。

▽日時 十月五日（火） 午前九時半より正午まで

▽場所 鷹巣町中央公民館一階

▽参加する都道府県と事業所 東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知、静岡、大阪、兵庫の建設業、製造業などの事業所

防火管理者講習会

秋田県消防長会では、防火管理者の資格を与える講習会を次のとおり開催します。

▽日時 十月十二日（火）から十三日（水）二日間 八時半から四時半まで

▽会場 鹿角市花輪字荒田四・鹿角市山村開発センター

▽費用 全三千元 テキスト代金 ※講習会の一全課程を終了したものに對し修了証書を交付します

十月一日付で

就業構造基本調査

十月一日現在で、就業構造基本調査が実施されます。この調査は皆さんの仕事の内容

や仕事に対する意識などについておたずねするものです。今回調査の対象となった約百二十世帯のご家庭には、調査員が九月下旬伺いますのでご理解とご協力をお願いします。

調査で得られた統計は、国や地方の雇用に関する政策をはじめ、皆さんの仕事や暮らしにかかわる政策のための重要な資料となります。

なお、この調査は法律に基づいて行われるもので、個人や世帯の秘密は完全に守られますので、ありのまま調査票に記入していただくようお願いいたします。

メダリストの指導で

バレーボール教室を

家庭婦人をはじめ一般のバレーボール愛好者の皆さんが、オリンピックの金メダリストから、直接指導が受けられる「さわやかバレーボール秋田教室」が開催されます。

バレーボールの楽しさと正しい練習方法を習得していただくため、ぜひご参加ください。

▽日時 五十七年九月十六日（木）一時から四時まで、開講式は十二時半です

▽会場 鷹巣体育館

▽講師 渡辺泰行（中村高校バレー部 指導監督） 佐藤哲夫（ミューンヘンオリピック金メダリスト）

▽受講料 無料

▽申込先 鷹巣体育館 ※抽せんによりサインボール、色紙を差しあげます。



冷害に挑戦

実り多い

収穫をむかえ

鷹巣町農業指導センター

三年続きの冷害が予想されてい
ましたが、六月に入って天候が回
復し、高温に恵まれて、稲作は登
熟も順調なことから、実り多い秋
を迎えられそうです。

農作業は、このあと刈り取り、
取納脱穀調整と年中で最も忙しい
時期にさしかかりますので、収穫
に必要な資材の準備や、機械の整
備点検を行って、上質米の生産に
努めましょう。

収穫を適期に

◇適期刈り取り

タイミングよく完熟期に刈り取
ることが大切です。刈り取り時期
が遅れると胴割粒、茶米が増加し、
光沢も悪くなり、品質が低下しま
すので注意してください。

刈り取り適期を判定する方法と
して▽出穂後の日数や積算気温で
行う▽モミや茎の黄化状態で判断
する…などの方法がありますが、
ことしは出穂後の気象状況からみ

て、適期は次のように予想されま
す。

▼早生種(アキヒカリ、アキユタ
カ) 出穂期八月九日～十三日、刈
り取り時期九月十九日～二十三日

▼中生種(キヨニシキ) 出穂期八
月十六日 刈り取り時期九月二十
六日

▼中晩生種(トヨニシキ、あさあ
け) 出穂期八月十七日、刈り取り
時期九月二十七日

刈り取り時期は一応の目安です
が、登熟期に異常高温や、乾湿の
繰り返しの多い場合は、さらに早
めに刈り取ってください。

◇種モミの刈り取り

種モミは品種の特性を維持する
ため三年に一度は更新する必要が
あります。

自家採種するときには、異なった
品種を抜きとり結実のよいものを、
適期より一週間位前に若刈りをする。
乾燥は自然乾燥とするが、長
過ぎると胴割れの原因となります
ので注意してください。

▼種子更新と収量の関係は▽連続
自家採種は百分▽二年連続自家採
種は九八百分▽三年連続は九五百分
▽五年連続は九〇百分▽九年連続は八
四百分…となっています。

上手な乾燥法は…

◇乾燥は

▼コンバイン刈りした高水分の生
モミは、呼吸熱のため発熱するほ
か、カビ類が繁殖したり変質しや
すいので、長時間の堆積をさけ、
四時間以内に乾燥を開始する。

▼収穫作業の能率のみを考え、つ
ゆの多い時に、無理してコンバイ
ン刈りするとモミ水分が高まるだ
けでなく、枝梗つきモミや、穂切
れモミがふえて、乾燥機内のモミ
の流動性を悪くして、過乾燥と乾
燥ムラを生ずる原因となる。

▼品質の低下を防ぎ、安全に乾燥
作業を進めるためにも、低温二段
乾燥が合理的である。

※低温二段乾燥のしかた▽乾燥
機の使用にあたっては、乾燥
温度をメーカー指定より五～十
度C低めに調整して、水分一八
%を目安に乾燥する▽火入れは
夕方から午後十一～十二時まで

▽深夜は五～六時間、火を止め
て静置する▽翌朝再び火を入れ
火止めを五～五・五～一六%にし
ます▽これをモミずりにすれば
水分一五%～一五・五%の玄米
に仕上がります。

▼乾燥機の使用で一番大事なこと
は、機種によってモミ量とモミ水
分による送風温度と乾燥時間が異
なります。取扱説明書をよく読

んで、人のマネをせず、正確にセ
ットして乾燥すること。
▼自動タイマーはセットした時間
の終りであって、モミの乾燥が終
了したことでない。水分の測定
は十分に行うこと。

調製作業は

◇モミすり

▼米撰機の網目は一・八五ミリ以
下を基準に、ササニシキのような小
粒種は一・八ミリ以下、ヨネシロの
ような大粒種は一・九ミリ以下に
して、整粒歩合八〇%に仕あげるよ
うにする。

▼モミすりは、乾燥の終わったモミ
を十分に放冷し(四十八時間位)
モミが常温になってから行うよう
にする。モミ温が高いと肌ずれし
やすく、また急激にモミ温を下げ
ようとして通風すると胴割れが多
くなりやすい

▼モミ水分が多かったり、ムラ乾燥
では、脱ぶ率が低下する。

▼モミの乾燥ムラがあるとモミが
混入しやすく、また夜間のモミず
り作業もモミの混入を多くしやす
いので注意する。

秋の交通安全運転

9月21日～30日

シートベルトは

あなたを守る命づな



町長と語る会

七座地区

八月十八日午後一時三十分から、
七座地区三部落協議会(三上兵一
郎会長)による「町長と語る会」
が前山会館で開かれました。

出席者は、各集落の役員など四
十人が参加。町からは出川町長は
じめ、建設、農林両課長が出席し
ました。

町長から行政全般にわたって報
告したあと、要望・意見が交され
ました。主なものは▽前山地区の
水田基盤整備について(町長)
ことしは調査費を予算化している
基盤整備は、作業能率を高め、自
分の財産を守るためにも必要だ。

▽前山・黒沢間の町道整備(答)
一定の幅員が必要で、用地を協
力してほしい。▽林道の整備につ
いて(答)森林の保管理を効
率的に行い、価値を高めるために
は林道が整備されなければならない
。したがって受益の負担が条件
である。…など身切かな要望、意
見が多かったです。

体力づくりや食生活見直しも

健康づくり協専門部会



鷹巣町健康づくり推進協議会の専門部会が九月一日午後一時から中央公民館で開催された。専門部会とは、看護婦、保健婦、生活改善普及員、栄養士、養護教諭、助産婦など、健康づくりについて、それぞれの専門分野を直接担当する人たちの会である。今後の方向としてつぎのようなことを話し合った。

調和のとれた運動推進を

「健康づくり」は、個人の自覚のもとに自分で自分の健康をつくっていくことである。今までは、どちらかというと、役場主導の疾病予防対策が主で、住民は受け身の形であったが、もっと幅の広い、能動的なものにしたい。その中において専門部の人たちはそれぞれ専門

分野を担当推進する。その分野をつぎのようにしたい。

- ▽積極的な健康づくり活動（体力づくり運動）をすすめる。
- ▽食生活の問題点をさぐり改善につとめる。
- ▽各種検診の未受診者をなくするようにつとめる。

車社会における体力づくりを

車社会といわれる今日、足を使うことが少くなり、どんどん弱くなっている。自分の体力に合った方法での散歩やジョギングを奨励する。

スポーツの生活化につとめ、若い時のスポーツが、中・高齢になっても続けられるようにしたい。だまって坐っていて家族をこき

使う「亭主閑白」は老化を早めることをわからせ、体を動かして自分の身辺整理することをすすめる。町内の多くの人々から、「私の健康法」を広く聞き集め、その事例集を紹介し役立てたい。

一日二十種類の食品を

食生活では、偏食傾向は正のため、健康のためには数多くの食品をとる必要があることを理解させる。婦人の集まりなどで、

「あなたは、きょう何種類の食品を食べましたか」の質問票を渡し、自己診断と改善法を示唆する（二十種以上が理想）

家庭菜園、自給野菜を奨励、特に緑黄色野菜を多くとること、カルシウムをとるため魚料理をすすめるなどしたい。

要精検者対策が課題

予防医学としての各種検診では精密検査を要するのに、それを受けないでいる人のいることが課題である。これに対して、どのように手を打ってゆくべきか、協議実践していきたい。

実態から、目標達成へ

こうした話し合いの中で、間口を拡げ過ぎると、専門分野としての焦点が呆けるのではないかと、この声も出た。

しかし健康づくりは総合的なものであることから、実態をよく把握し、長期、中期の具体的な到達目標を立て、施策を練り、着実な歩みをもって成果が目に見えるようにしたいと話し合った。

ふるさと人物伝

和田喜代治

一八九四—一九八〇

「和田のじっちゃ」の愛称で呼ばれ、自転車に山刀や鉞をつけて走りまわっていた和田喜代治さんの姿は今でも目に見えるような気がする。

公民館にもときどき寄られたので、郷土の歴史について話を聞いた。明治三十三年、鷹巣に初めて汽車がきた時のことを、「まつ黒い大きな物が煙をあげて進んで来たが、それが汽車というもののだじおん」と、少年時代の感動を語ってくれた。

喜代治は明治二十七年二月、和田三次郎の長男として生まれ小学校高等科卒業後、父の後を継いで大工をしていたが、昭和三年からポンプ屋になる。昭和十三年、家族の反対をおし切っ



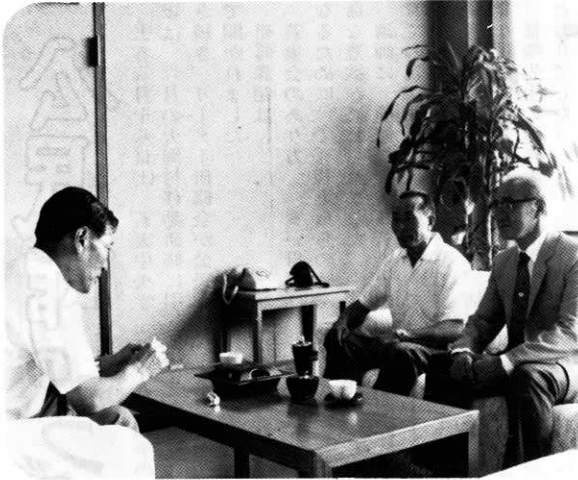
て試験を受け搾班の技術者となり戦地ハイラルに渡る。四十五歳、妻といっしょである。

やがて敗戦、彼はシベリヤに抑留され、昭和二十三年九月、復員するが、帰っている筈の妻はどこでどうなったのか待てど帰らなかつた。二人の息子も戦死、結局すでに嫁いでいた長女夫婦を呼び寄せ、ポンプ屋として後を継がせ現在に至っている。

彼は何ごとも誠心誠意、情熱をもって打ち込み、社会のために奉仕した。能代市の砂丘地帯はパイプに砂がつまり、ポンプ揚水は不可能とされていたが彼のたゆまぬ工夫研究により、昭和二十八年、竹生、須田、真壁地区の消火栓、かんがい用水を成功させた。また、南田中地区の防火用水の場合は消火栓を綴子川からとるべきであると、道路の必要性を強調している。

中央公園は今、桜や松の緑に包まれているが、和田さんの献身的な手入れのおかげである。六十歳をすぎたから書道クラブに入り、練習に励み、展覧会で入賞、八十歳をすぎたから、通信教育で造園の研究するなどまさに、高齢化社会における生涯学習のあり方の手本を見せてくれた人である。住吉町の和田ポンプには彼の表彰状、感謝状がいっぱい掲げられている。（資料渡辺勝蔵「和田老と私」並びに息子 善之助談）

中央公民館長 長崎 久

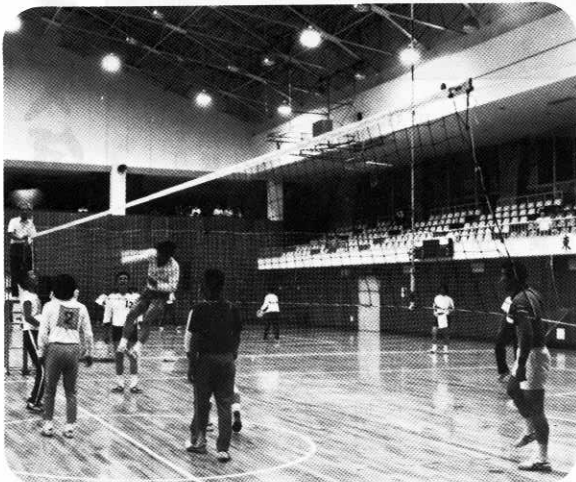


畠山さんブラジルから里帰り

48年前ブラジルに移民した七日市大畑出身の畠山久左衛門さん(63)が、半世紀ぶりに里帰りし、52年にブラジルを訪れた出川町長と久しぶりの対面をしました。畠山さんは叔父にあたる畠山久孝さん宅に身を寄せ2カ月間、国内を回って帰国する予定ですが、鷹巣の変わりように驚いていましたが「山や川は昔と、ちょっとも変っていない、懐しいです」と感慨い深げ。

第12回町民バレーボール大会が8月31日から9月4日まで鷹巣体育館で行われました。大会にはクラブや職場から28チームが参加。試合は毎日午後6時から開始され予選リーグ、決勝トーナメントで熱戦が展開されました。結果は、男子1部が七座青年会、2部は南鷹巣。女子1部はレデーズ、2部は南鷹巣がそれぞれ優勝を飾りました。

町民バレーに28チーム参加



糠沢子供会 国道美化で表彰

7年間にわたって国道沿の美化に努めた糠沢子供会(佐藤清一世話人)が、建設省東北地方建設局長表彰を受け、8月24日糠沢会館で伝達式が行われました。同子供会は、クリーンアップのほかゴミ箱を設置したり、道端にマリーゴールド、サルビアなどの花を植えて行き交うドライバーの目を楽しませていました。伝達式では感謝状と記念の時計が授与されました。

秋田県共同募金会では、このほど、募金活動に協力いただいた方々を表彰したので、9月1日町の共同募

金会長である出川町長から伝達式が行われました。表彰された方は、長年奉仕員として、目標額を達成し、いち早く集金して下さった佐藤勝雄さん(吉ヶ沢)。多年継続高額寄付者の鷹巣土建(河田重夫社長)寺田富太郎、五十嵐岩男、藤原高司各氏です。

共同募金協力者を表彰



公民館のいづか

去る八月十八日(出) 若妻中央学級は、六月の大潟村移動研修に引き続き、リーダー研修会が公民館で開かれました。

研修課題は「若妻会のあり方」「賢い母親になるために」で、若妻たちのけん命な意欲が感じられました。

講師に、前館長であり若妻会の育ての親、長崎佐太吉氏を招いて行われ、事例をまじえた内容で、子育てについては関心も高く、活発な話し合いが、なされました。

長崎先生の講話の内容は、次のとおりでした。

◆若妻会のあり方について
▽学習には、答が用意されている学習と、答のないものを探り考える学習がある。そして会には、親和的、学習的、実践的な三つの要素が必ずある。

▽リーダーとは、みんなと一緒に努力しながら歩く人であり、時には先頭に立ち、時にはみんなのために下ばたらさをする人である。

▽若妻は地域の活力であり、話題をたくさん持っている人でありたい。

◆賢い母親になるため
▽義務教育前の教育主体は、若妻である。

▽生きることはできるが、人を生かすことはむずかしい。また、子どもを生むことはできるが、育てることはむずかしい。

る人(相手の痛みがわかる人)
▽先を見ることのできる人
▽子どもは一冊の本である。子どもから学びとることが出来る人
そのあと、話し合いに入り「このままでは、母親失格だ。少しでも、賢い母親に近づくため、これからはがんばろう」を、合いことばに散会しました。

善意文庫

皆さんが深い感銘を受けられた本を、隣人のため、次の世代のために残していただくことを願い、鷹巣ロータリークラブでは、「善意文庫」を創設することにしました

公民館活動の 研究大会へ参加しませんか

第30回目を迎えた、大館市北秋田郡公民館活動研究大会が、次の日程で開催されることになりました。

公民館では、各種学級、講座生多数の参加を呼びかけております。※くわしいことは、中央公民館へお問い合わせください。

◆期日 九月十九日(日)
午前九時三十分から

◆場所 田代町公民館
◆講演 「住民の学習・地域活動のあり方と役割」

講師 野呂田 兼雄

た。
もしあなたの手元に、次にくる人々や更に多くの友人に、ぜひ読んで貰いたいとお考えの本がありましたら、この文庫に寄贈してください。

図書館に新しい「善意文庫」のコーナーを作って、広く町民の皆さんに利用して頂きたいと思えます。

ご協力をお願いします。

▽善意文庫は鷹巣町図書館内に設け、誰でも自由に利用できます。

▽善意文庫は千冊の文庫を作ることを目標とします。

▽寄贈される本には署名を願い、その善意を記念します。

▽寄贈される本は中央公民館で受領いたします。また最寄りのロータリークラブ会員に寄託されてもけっこうです。

公民館活動の 研究大会へ参加しませんか

▼分科会

第一分科会「生活の合理化推進の問題点」

第二分科会「地域産業の後継者づくりと問題点」

第三分科会「壮年集団における学習、地域活動の問題点」

第四分科会「婦人学級における学習、地域活動の問題点」

第五分科会「青少年育成における学習、地域活動の問題点」

第六分科会「高齢者の学習、地域活動の問題点」

▼全体会

郷土史年表

西暦	昭和	時	代	事項
一九四〇	昭和一五	一九四一	昭和一六	<ul style="list-style-type: none"> ○九月、沢口小学校、中央部並びに二ツ井競技大会で、尋常科男女優勝 ○十月十二日 大政翼賛会発会式 ○十一月十日 紀元二千六百年祭がおこなわれ、皇居前広場の中央式典には全国から五万人が参加 ○十一月二十日 「北方教育」同人の佐々木昌ら六名が治安維持法違反の理由で検挙される。 ○一月三十日 大烈風秒速四十八米 ○四月一日 国民学校令施行により、小学校を国民学校と改称、初等科六年高等科二年を義務教育とす。(ただし実現できなかった) ○国定教科書を改訂(読本……アカイアカイ、アサヒ、アサヒ) ○厚生省では一夫婦五児以上の「子宝報国」運動をよびかける。 ○四月十五日 県は市町村長、学校長へ、管内の労力を動員し、戦時国民食糧確保のため、本県食糧増産計画に協力するよう通達 ○第四十八銀行支店を秋田銀行鷹巣支店と改称す。 ○五月 鷹巣保育園創立(小林恵一) ○五月十六日 坊沢神明社殿修理 ○五月二十九日 坊沢少年団 集団開こん地の録入式 ○六月九日 前山・今泉に託児所開設 ○七月三十一日 綴子国民学校、防空避難演習実施 ○十一月一日 大学・専門学校等の在学年限が六カ月短縮となる。

(次号つづく)

みんなの広場



ハンゴンソウ
キク科

山菜の一つ、若いとき食べられる。

(南小学校 畠山益穂先生)

俳句の魅力

坊沢藤嶋正人(51)



俳句人口は年々増加していると言われ、特に中央で、それが十代、二十代に多くなっているという事です。まさに庶民の文学と言われるにふさわしい広まり方でありませう。だれでもが知っているように、俳句は季節と生活を融合させ、五



さいとう ひさやくん (6歳)

ぼくの絵 わたしの絵

＝ルンビニ幼稚園＝

はたけやま ようこちゃん (6歳)



広報のおおひらき

老人の健康 社会の高齢化が
進むに伴い、老人の心の健康が大きな問題として浮かび上がってきました。今後急速に増えるのではと懸念されているのがうつ病です。

高齢化が進むにつれてうつ病が増える原因として、精神科医は、気分を正常に保つ機能がさがること、長びく病気にかかりやすくなることなど、老人特有の問題をあげています。
うつ病を早く発見するためには、周囲の人が「年のせいにしてない」ことが大原則です。

なかでも、老人が不眠や不安を訴えたり、体重が減ったり、口かすが少なくなったら注意信号だと考えて、精神科医か内科医に相談するようにしましょう。
老人のうつ病に少なからず見られる「仮性痴呆」も、放っておくと本当のボケになるといわれますから、早期の治療が必要です。

感を通して得た感動を、十七音という詩型の中に詠いあげなければなりません。静かに対象を見つめ、目を閉じて見えるものから見えないうものへと心はたらく。過去から現在、現在からさらに未来へと心を拡げて自分の世界に浸り、そこから新しい十七音の詩を創造していくのです。それだけに、作句するときの精神の集中と言葉の選択は非常に大事になるのです。孤独に精神の集中をし、選ばれた言葉を通して、自分の内面に存在している生ま生ましい個を表現していく……。そこには、一つのロマンとも言えるものが生まれてくるのです。これが俳句の魅力とも

言えるものであり、俳句人でなければ味わうことのできないすばらしい世界であると思います。
既成の文学を愛読するだけでは、人間は常に受け身になってしまします。とかく忙がしいこの世相に精神を集中して自己の内面を表現する。文学も自分で創造していくところに楽しさがあると思います。
感受性は齢とともに劣っていくきます。その劣えをいくらかでも補うために、若い時代から感受性を磨いておきたいものです。生活の中に季節感の少なくなった現代、俳句という詩型に精神を定着させ、季節の美に対する感覚を養いたいものです。

たかのす文芸

思 い 出

鷹巣中学校一年 畠山 洋子

私の心の中には
十二年間の思い出が
つまっている
時には祖母が死に
時にはやけどをし
それも一しゆんの出来事
一しゆんが作り上げた
一しゆんだけの出来事
十二年間の思い出
それも何かの出会いだったのだろう
いい思い出
いやな思い出
心にやきついて
はなれない思い出
いつかはいいい思い出に
変わる日がくるだろう

おしらせ



一線美術会連立委員 九島繁二氏

予防接種

生後二十四カ月から四十八カ月(五十三年九月十六日から五十五年九月十六日)までの出生者を対象に、百日せき、ジフテリア、破傷風の予防接種を行います。

接種は、鷹巣地区以外の方は十六日、鷹巣地区の方は十七日に行います。受付時間は、午後一時から二時半まで。おいでの方は必ず母子手帳を持参ください。

結核検診

九月十七日から十月一日までの結核検診を、次の地域で実施します。検診料は無料。

成人健康相談は、二十二日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、二十日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでください。

また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について。時間は、午前十時から十一時まで。場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

出品を受け付けています。出品資格は、県内の事業所に勤務する勤労者(アマチュア)で、未発表のものに限ります。

種目は、日本画、洋画、書道、写真、彫塑、工芸、デザイン。出品を希望される方は、九月二十二日までに、秋田市山王四丁目一番一号、商工労働部労政課まで申し込みください。(公・秋田六〇一七二六)

珠算能力検定試験

日本商工会議所、大館商工会議所では、珠算能力検定試験を実施します。申込方法は、大館商工会議所の申込用紙に必要事項を記入し、受験料を添えて申込んでください。

受験料は、一級三千三百円、二級二千円、三級八百円、四級六級六百円、七級十級五百円です。受験ご希望の方は、九月十三日から十月一日まで、大館商工会議所あて提出してください。試験日は十月十七日、大館商業高等学校で実施します。

停電のお知らせ

九月の作業停電は、次の地区です。九月十六日(今泉) 九月二十九日(七日市・佐助岱) 九月三十日(舟見町変電所付近)。

善意

秋田市・村山陽子さんから成人記念講演の一部として 一五、〇〇〇円

綴子大畑、小笠原喜一さんから亡長男智さんのあき缶貯金 二四、一九九円 このお金は、智さんが生前ジュース缶に小銭を入れて貯めたお金です。それぞれ社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しに町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ご芳志に深く感謝いたします。
阿仁町幸屋松橋コト子さんから亡母アサさんの香典返し
糠沢照内平太郎さんから亡母キミさんの香典返し
綴子上町石川惣一さんから亡母リサさんの香典返し
岩谷佐藤隆雄さんから亡父雄三さんの香典返し
前山沢野悦子さんから亡祖母キヌさんの香典返し
あけぼの町成田年男さんから亡父敬一郎さんの香典返し
米代町長谷川欽一さんから亡父裕晃さんの香典返し
羽立佐藤三郎さんから亡母トメさんの香典返し
前山野呂久さんから亡父義一

慶弔だより

8月16日〜8月31日 誕生おめでとうございます。

- さんの香典返し
綴子大畑、小笠原喜一さんから亡長男智さんの香典返し
旭町柏木テルさんから亡夫吉五郎さんの香典返し
高橋夏希(征雄) 長女 田中
佐藤仁法(義則) 二男 舟場
九嶋渚(昇) 長女 元町
本城谷健悟(知昭) 二男 材木町
猿田富美大(富夫) 長男 南鷹巣
三沢和央(清三郎) 二男 大堤
成田香織(勇夫) 長女 田中
小坂哲(進) 長男 摩当
高田那津子(勝正) 長女 住吉町
二人の前途を祝福いたします。
福岡浩也 今泉
乙部紀代美 東横町
津谷健一 坊沢羽立
前田多津子 土井阿仁

- おくやみ申しあげます
成田敬一郎(71歳) あけぼの
大高祐孝(7歳) 吉野
佐藤三之助(72歳) 妹尾館
野呂義一(86歳) 前山
佐藤トメ(82歳) 坊沢羽立
小笠原智(21歳) 綴子大畑
柏木吉五郎(81歳) 旭町
桜庭忠五郎(85歳) 大町
神成イト(90歳) 小森